

各位

会社名 ジェイレックス・コーポレーション株式会社  
(コード番号 2995 TOKYO PRO Market)  
代表者名 代表取締役社長 春田 英樹  
問合せ先 取締役管理部長 中村 安利  
TEL 03-3345-6012  
URL <https://www.j-rex.co.jp/>

(訂正) 「2024年6月期 決算短信〔日本基準〕(非連結)」の一部訂正について

当社が、2024年8月14日に公表いたしました「2024年6月期 決算短信〔日本基準〕(非連結)」につきまして、一部訂正がありましたので、お知らせいたします。

記

1 訂正の理由

「2024年6月期 決算短信〔日本基準〕(非連結)」の発表後に、賞与引当金と支払利息についての開示内容の一部に誤りがあることが判明したため、これを訂正するものです。

2 訂正の内容

訂正箇所につきましては、\_\_\_\_\_線を付して表示しております。

<1ページ 1. 2024年6月期の業績(2023年7月1日～2024年6月30日)>

【訂正前】

(1) 経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年6月期	17,103	1.7	<u>1,839</u>	<u>18.6</u>	<u>1,960</u>	<u>0.1</u>	<u>1,207</u>	<u>1.8</u>
2023年6月期	16,809	1.7	1,550	△9.2	1,958	4.4	1,185	3.2

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2024年6月期	<u>375.72</u>	—	<u>11.1</u>	<u>7.1</u>	10.7
2023年6月期	368.90	—	12.0	7.7	9.2

(参考) 持分法投資損益 2024年6月期 - 百万円 2023年6月期 - 百万円

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年6月期	31,152	<u>11,462</u>	<u>36.7</u>	<u>3,567.50</u>
2023年6月期	24,378	10,375	42.6	3,229.28

(参考) 自己資本 2024年6月期 11,462百万円 2023年6月期 10,375百万円

## (3) キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2024年6月期	<u>△6,633</u>	△65	<u>6,280</u>	1,567
2023年6月期	1,628	△106	△4,061	1,985

## 【訂正後】

## (1) 経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年6月期	17,103	1.7	<u>1,841</u>	<u>18.8</u>	<u>1,965</u>	<u>0.3</u>	<u>1,212</u>	<u>2.2</u>
2023年6月期	16,809	1.7	1,550	△9.2	1,958	4.4	1,185	3.2

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2024年6月期	<u>377.28</u>	—	<u>11.0</u>	<u>7.0</u>	10.7
2023年6月期	368.90	—	12.0	7.7	9.2

(参考) 持分法投資損益 2024年6月期 - 百万円 2023年6月期 - 百万円

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

## (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年6月期	31,152	<u>11,467</u>	<u>36.8</u>	<u>3,569.06</u>
2023年6月期	24,378	10,375	42.6	3,229.28

(参考) 自己資本 2024年6月期 11,467百万円 2023年6月期 10,375百万円

## (3) キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2024年6月期	<u>△6,628</u>	△65	<u>6,275</u>	1,567
2023年6月期	1,628	△106	△4,061	1,985

## &lt;添付資料 2ページ 1. 経営成績等の概況&gt;

## 【訂正前】

## (1) 当期の経営成績の概況

当事業年度（2023年7月1日～2024年6月30日）における我が国経済は、各種の政策効果等により緩やかな回復基調が続いております。もともと、日銀の金融政策の見直しや物価上昇に加え、国際情勢が安定を欠いていること等景気の下振れ要因も存在し、動向に注視が必要です。

当社が属する不動産業界では、依然として国内外からの投資需要が高水準を保ち続けております。

2024年1～3月の世界の都市別不動産投資額で日本の首都圏（東京都、神奈川、千葉、埼玉各県）が前年同期比60%増の76億5000万ドル（約1兆2000億円）となり、ニューヨークやロンドンを抜き世界首位となったとの報道もあり、相対的に低金利で市場が安定している日本の不動産に投資資金が集まっております。

このような事業環境の中、当社は「TATSUMIスカイガーデンテラス」、「レオーネ秋葉原」等の販売を行った結果、当事業年度の売上高は17,103,113千円（前事業年度比1.7%増）、営業利益は1,839,046千円（前事業年度比18.6%増）、経常利益は1,960,451千円（前事業年度比0.1%増）、当期純利益は1,207,201千円（前事業年度比1.8%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

## ① 不動産開発事業

不動産開発事業は、自社開発物件の開発・企画・販売の拡大に努めた結果、売上高は15,553,221千円（前事業年度比0.5%減）となり、また、広告宣伝費の増加によりセグメント利益は2,392,673千円（前事業年度比6.8%増）となりました。

## ② 不動産関連サービス事業

不動産関連サービス事業は、収益物件の取得等により、売上高は1,549,892千円（前事業年度比33.5%増）、セグメント利益は754,731千円（前事業年度比91.3%増）となりました。

### （2）当期の財政状態の概況

#### （資産）

当事業年度末における資産合計は31,152,087千円となり、前事業年度末に比べ6,773,116千円増加いたしました。これは主に仕掛販売用不動産5,977,358千円の増加によるものです。

#### （負債）

当事業年度末における負債合計は19,689,697千円となり、前事業年度末と比べ5,686,402千円増加いたしました。これは主に長期借入金4,379,676千円及び短期借入金3,497,834千円の増加によるものです。

#### （純資産）

当事業年度末における純資産合計は11,462,390千円となり、前事業年度末に比べ1,086,714千円増加いたしました。これは主に当期純利益1,207,201千円の計上によるものです。

この結果、自己資本比率は36.7%となり、前事業年度末に比べ5.9ポイント減少いたしました。

### （3）当期のキャッシュ・フローの概況

当事業年度における現金及び現金同等物（以下「資金」という）の残高は前事業年度末と比べ417,888千円減少し、1,567,897千円となりました。

#### （営業活動によるキャッシュ・フロー）

当事業年度における営業活動によるキャッシュ・フローは6,633,549千円の支出（前事業年度1,628,890千円の収入）となりました。これは主に税引前当期純利益2,873千円の減少及び法人税等の支払額21,679千円、棚卸資産7,267,004千円の増加と利息の支払額251,364千円によるものです。

#### （投資活動によるキャッシュ・フロー）

当事業年度における投資活動によるキャッシュ・フローは65,238千円の支出（前事業年度106,164千円の支出）となりました。これは主に定期預金の預入による支出900,201千円、定期預金の払戻による収入855,973千円によるものです。

#### （財務活動によるキャッシュ・フロー）

当事業年度における財務活動によるキャッシュ・フローは6,280,899千円の収入（前事業年度4,061,821千円の支出）となりました。これは主に長期借入金の借入による収入9,396,010千円、長期借入金の返済による支出6,452,456千円によるものです。

### （4）今後の見通し

今後、我が国経済は回復傾向をしばらく継続するものと予想しております。そのような事業環境の中、当社においても今期と同程度の経営成績を見込んでおります。当社2025年6月期の経営計画として、売上高17,280百万円

（当事業年度比1.0%増）、営業利益1,854百万円（当事業年度比0.8%増）、経常利益1,978百万円（当事業年度比0.9%増）、当期純利益1,225百万円（当事業年度比1.5%増）を計画しております。

## 【訂正後】

### （1）当期の経営成績の概況

当事業年度（2023年7月1日～2024年6月30日）における我が国経済は、各種の政策効果等により緩やかな回復基調が続いております。もともと、日銀の金融政策の見直しや物価上昇に加え、国際情勢が安定を欠いていること等景気の下振れ要因も存在し、動向に注視が必要です。

当社が属する不動産業界では、依然として国内外からの投資需要が高水準を保ち続けております。

2024年1～3月の世界の都市別不動産投資額で日本の首都圏（東京都、神奈川、千葉、埼玉各県）が前年同期比60%増の76億5000万ドル（約1兆2000億円）となり、ニューヨークやロンドンを抜き世界首位となったとの報道もあり、相対的に低金利で市場が安定している日本の不動産に投資資金が集まっております。

このような事業環境の中、当社は「TATSUMIスカイガーデンテラス」、「レオーネ秋葉原」等の販売を行った結果、当事業年度の売上高は17,103,113千円（前事業年度比1.7%増）、営業利益は1,841,803千円（前事業年度比18.8%増）、経常利益は1,965,452千円（前事業年度比0.3%増）、当期純利益は1,212,202千円（前事業年度比2.2%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

① 不動産開発事業

不動産開発事業は、自社開発物件の開発・企画・販売の拡大に努めた結果、売上高は15,553,221千円（前事業年度比0.5%減）となり、また、広告宣伝費の増加によりセグメント利益は2,392,673千円（前事業年度比6.8%増）となりました。

② 不動産関連サービス事業

不動産関連サービス事業は、収益物件の取得等により、売上高は1,549,892千円（前事業年度比33.5%増）、セグメント利益は754,731千円（前事業年度比91.3%増）となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

(資産)

当事業年度末における資産合計は31,152,087千円となり、前事業年度末に比べ6,773,116千円増加いたしました。これは主に仕掛販売用不動産5,977,358千円の増加によるものです。

(負債)

当事業年度末における負債合計は19,684,696千円となり、前事業年度末と比べ5,681,401千円増加いたしました。これは主に長期借入金4,379,676千円及び短期借入金3,492,833千円の増加によるものです。

(純資産)

当事業年度末における純資産合計は11,467,391千円となり、前事業年度末に比べ1,091,714千円増加いたしました。これは主に当期純利益1,207,201千円の計上によるものです。

この結果、自己資本比率は36.8%となり、前事業年度末に比べ5.8ポイント減少いたしました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当事業年度における現金及び現金同等物（以下「資金」という）の残高は前事業年度末と比べ417,888千円減少し、1,567,897千円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当事業年度における営業活動によるキャッシュ・フローは6,628,548千円の支出（前事業年度1,628,890千円の収入）となりました。これは主に税引前当期純利益2,127千円の増加及び法人税等の支払額21,679千円、棚卸資産7,267,004千円の増加と利息の支払額246,363千円によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当事業年度における投資活動によるキャッシュ・フローは65,238千円の支出（前事業年度106,164千円の支出）となりました。これは主に定期預金の預入による支出900,201千円、定期預金の払戻による収入855,973千円によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当事業年度における財務活動によるキャッシュ・フローは6,275,899千円の収入（前事業年度4,061,821千円の支出）となりました。これは主に長期借入金の借入による収入9,396,010千円、長期借入金の返済による支出6,452,456千円によるものです。

(4) 今後の見通し

今後、我が国経済は回復傾向をしばらく継続するものと予想しております。そのような事業環境の中、当社においても今期と同程度の経営成績を見込んでおります。当社2025年6月期の経営計画として、売上高17,280百万円

（当事業年度比1.0%増）、営業利益1,854百万円（当事業年度比0.8%増）、経常利益1,978百万円（当事業年度比0.9%増）、当期純利益1,225百万円（当事業年度比1.5%増）を計画しております。

<添付資料 4ページ 3.財務諸表及び主な注記>

(5) 財務諸表に関する注記事項

(1) 貸借対照表

	【訂正前】	【訂正後】(単位：千円)
	当事業年度 (2024年6月30日)	当事業年度 (2024年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	17,752	17,752
短期借入金	5,959,332	5,954,331
1年内償還予定の社債	40,000	40,000
1年内返済予定の長期借入金	3,832,933	3,832,933
未払法人税等	381,567	381,567
未払消費税等	136,461	136,461
前受金	50,390	50,390
前受収益	82,366	82,366
預り金	559,627	559,627
賞与引当金	26,556	26,556
その他	101,746	101,746
流動負債合計	<u>11,188,733</u>	<u>11,183,732</u>
固定負債		
社債	-	-
長期借入金	8,257,991	8,257,991
退職給付引当金	1,718	1,718
役員退職慰労引当金	77,123	77,123
預り敷金保証金	164,131	164,131
固定負債合計	<u>8,500,964</u>	<u>8,500,964</u>
負債合計	<u>19,689,697</u>	<u>19,684,696</u>
純資産の部		
株主資本		
資本金	895,880	895,880
利益剰余金		
利益準備金	82,361	82,361
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	10,952,301	10,957,302
利益剰余金合計	<u>11,034,663</u>	<u>11,039,664</u>
自己株式	△468,153	△468,153
株主資本合計	<u>11,462,390</u>	<u>11,467,391</u>
純資産合計	<u>11,462,390</u>	<u>11,467,391</u>
負債純資産合計	<u>31,152,087</u>	<u>31,152,087</u>

## (2) 損益計算書

【訂正前】

【訂正後】 (単位：千円)

	当事業年度 (自 2023年7月1日 至 2024年6月30日)	当事業年度 (自 2023年7月1日 至 2024年6月30日)
売上高		
不動産開発事業売上	15,553,221	15,553,221
不動産関連サービス事業売上	1,549,892	1,549,892
売上高合計	17,103,113	17,103,113
売上原価		
不動産開発事業原価	12,319,300	12,319,300
不動産関連サービス事業原価	709,357	709,357
売上原価合計	13,028,657	13,028,657
売上総利益	4,074,455	4,074,455
販売費及び一般管理費	2,235,409	2,232,651
営業利益	1,839,046	1,841,803
営業外収益		
受取利息	85	85
受取配当金	112	112
還付消費税等	477,750	477,750
保険解約返戻金	-	-
その他	2,799	41
営業外収益合計	480,747	477,990
営業外費用		
支払利息	249,595	244,594
支払手数料	109,747	109,747
営業外費用合計	359,342	354,341
経常利益	1,960,451	1,965,452
特別損失		
投資有価証券評価損	4,999	4,999
税引前当期純利益	1,955,451	1,960,452
法人税、住民税及び事業税	887,893	887,893
法人税等調整額	△139,643	△139,643
法人税等合計	748,250	748,250
当期純利益	1,207,201	1,212,202

## (3) 株主資本等変動計算書

【訂正前】

当事業年度（自 2023年7月1日 至 2024年6月30日）

(単位：千円)

	株主資本						純資産合計
	資本金	利益剰余金			自己株式	株主資本合計	
		利益準備金	その他利益剰余金 繰越利益剰余金	利益剰余金合計			
当期首残高	895,880	70,313	9,877,636	9,947,950	△468,153	10,375,676	10,375,676
当期変動額							
剰余金の配当		12,048	△132,536	△120,487		△120,487	△120,487
当期純利益			<u>1,207,201</u>	<u>1,207,201</u>		<u>1,207,201</u>	<u>1,207,201</u>
当期変動額合計	—	12,048	<u>1,074,664</u>	<u>1,086,713</u>	—	<u>1,086,713</u>	<u>1,086,713</u>
当期末残高	895,880	82,361	<u>10,952,301</u>	<u>11,034,663</u>	△468,153	<u>11,462,390</u>	<u>11,462,390</u>

【訂正後】

当事業年度（自 2023年7月1日 至 2024年6月30日）

(単位：千円)

	株主資本						純資産合計
	資本金	利益剰余金			自己株式	株主資本合計	
		利益準備金	その他利益剰余金 繰越利益剰余金	利益剰余金合計			
当期首残高	895,880	70,313	9,877,636	9,947,950	△468,153	10,375,676	10,375,676
当期変動額							
剰余金の配当		12,048	△132,536	△120,487		△120,487	△120,487
当期純利益			<u>1,212,202</u>	<u>1,212,202</u>		<u>1,212,202</u>	<u>1,212,202</u>
当期変動額合計	—	12,048	<u>1,079,665</u>	<u>1,091,714</u>	—	<u>1,091,714</u>	<u>1,091,714</u>
当期末残高	895,880	82,361	<u>10,957,302</u>	<u>11,039,664</u>	△468,153	<u>11,467,391</u>	<u>11,467,391</u>

## (4) キャッシュ・フロー計算書

【訂正前】

【訂正後】 (単位：千円)

	前事業年度 (自 2022年7月1日 至 2023年6月30日)	当事業年度 (自 2023年7月1日 至 2024年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前当期純利益	1,955,451	1,960,452
減価償却費	10,020	10,020
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△1,257	△1,257
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△157	△157
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	4,480	4,480
受取利息及び受取配当金	△197	△197
保険解約返戻金	-	-
投資有価証券評価損	4,999	4,999
支払利息	249,595	249,595
支払手数料	-	-
売上債権の増減額 (△は増加)	△24,796	△24,796
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△7,267,004	△7,267,004
仕入債務の増減額 (△は減少)	△603,106	△603,106
その他	△95,910	△95,910
小計	<u>△5,274,326</u>	<u>△5,274,326</u>
利息及び配当金の受取額	197	197
利息の支払額	<u>△251,364</u>	<u>△246,363</u>
保険解約返戻金の受取額	-	-
法人税等の支払額	△1,108,055	△1,108,055
営業活動によるキャッシュ・フロー	<u>△6,633,549</u>	<u>△6,628,548</u>
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△900,201	△900,201
定期預金の払戻による収入	855,973	855,973
無形固定資産の取得による支出	-	-
関係会社株式の取得による支出	-	-
その他	△21,011	△21,011
投資活動によるキャッシュ・フロー	<u>△65,238</u>	<u>△65,238</u>
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	3,497,834	3,492,833
長期借入れによる収入	9,396,010	9,396,010
長期借入金の返済による支出	△6,452,456	△6,452,456
社債の償還による支出	△40,000	△40,000
配当金の支払額	△120,487	△120,487
財務活動によるキャッシュ・フロー	<u>6,280,899</u>	<u>6,275,898</u>
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	<u>△417,888</u>	<u>△417,888</u>
現金及び現金同等物の期首残高	1,985,785	1,985,785
現金及び現金同等物の期末残高	1,567,897	1,567,897

## (セグメント情報)

## 【訂正前】

当事業年度（自 2023年7月1日 至 2024年6月30日）

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	財務諸表 計上額 (注) 2
	不動産開発事業	不動産関連 サービス事業	計		
売上高					
顧客との契約から生じる収益	15,553,221	396,958	17,103,113	-	17,103,113
その他の収益	-	1,152,933	-	-	-
外部顧客に対する売上高	15,553,221	1,549,892	17,103,113	-	17,103,113
セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	-	-	-
計	15,553,221	1,549,891	17,103,113	-	17,103,113
セグメント利益	2,392,673	754,731	3,147,405	<u>△1,308,358</u>	<u>1,839,046</u>
セグメント資産	26,700,330	217,138	26,917,469	4,234,618	31,152,087
その他の項目					
減価償却費	627	2,820	3,447	6,673	10,120
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	-	-	-	-	-

(注) 1. 調整額は、以下のとおりであります。

- (1) セグメント利益の調整額△1,308,358千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主にセグメントに帰属しない一般管理費であります。
  - (2) セグメント資産の調整額4,234,618千円は、各報告セグメントに配分していない全社資産であります。全社資産は主に報告セグメントに帰属しない余資運用資金（現金及び預金等）及び管理部門に係る資産であります。
  - (3) 減価償却費の調整額6,673千円は、管理部門の資産に係るものであります。
2. セグメント利益は、財務諸表の営業利益と調整を行っております。

## (1株当たり情報)

	前事業年度 (自 2022年7月1日 至 2023年6月30日)	当事業年度 (自 2023年7月1日 至 2024年6月30日)
1株当たり純資産	3,229円28銭	1株当たり純資産 <u>3,567円50銭</u>
1株当たり当期純利益	368円90銭	1株当たり当期純利益 <u>375円72銭</u>

- (注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
2. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は以下のとおりであります。

	前事業年度 (自 2022年7月1日 至 2023年6月30日)	当事業年度 (自 2023年7月1日 至 2024年6月30日)
当期純利益(千円)	1,185,272	<u>1,207,201</u>
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る当期純利益(千円)	1,185,272	<u>1,207,201</u>
普通株式の期中平均株式数(株)	3,213,000	3,213,000

【訂正後】

(セグメント情報)

当事業年度 (自 2023年7月1日 至 2024年6月30日)

(単位: 千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	財務諸表 計上額 (注) 2
	不動産開発事業	不動産関連 サービス事業	計		
売上高					
顧客との契約から生じる収益	15,553,221	396,958	17,103,113	-	17,103,113
その他の収益	-	1,152,933	-	-	-
外部顧客に対する売上高	15,553,221	1,549,892	17,103,113	-	17,103,113
セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	-	-	-
計	15,553,221	1,549,891	17,103,113	-	17,103,113
セグメント利益	2,392,673	754,731	3,147,405	<u>△1,305,601</u>	<u>1,841,803</u>
セグメント資産	26,700,330	217,138	26,917,469	4,234,618	31,152,087
その他の項目					
減価償却費	627	2,820	3,447	6,673	10,120
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	-	-	-	-	-

(注) 1. 調整額は、以下のとおりであります。

- (1) セグメント利益の調整額△1,305,601千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主にセグメントに帰属しない一般管理費であります。
  - (2) セグメント資産の調整額4,234,618千円は、各報告セグメントに配分していない全社資産であります。全社資産は主に報告セグメントに帰属しない余資運用資金(現金及び預金等)及び管理部門に係る資産であります。
  - (3) 減価償却費の調整額6,673千円は、管理部門の資産に係るものであります。
2. セグメント利益は、財務諸表の営業利益と調整を行っております。

(1株当たり情報)

前事業年度 (自 2022年7月1日 至 2023年6月30日)		当事業年度 (自 2023年7月1日 至 2024年6月30日)	
1株当たり純資産	3,229円28銭	1株当たり純資産	<u>3,569円06銭</u>
1株当たり当期純利益	368円90銭	1株当たり当期純利益	<u>377円28銭</u>

- (注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。  
2. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は以下のとおりであります。

	前事業年度 (自 2022年7月1日 至 2023年6月30日)	当事業年度 (自 2023年7月1日 至 2024年6月30日)
当期純利益(千円)	1,185,272	<u>1,212,202</u>
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る当期純利益(千円)	1,185,272	<u>1,212,202</u>
普通株式の期中平均株式数(株)	3,213,000	3,213,000

以上